

< 目次 >

- 1 【実践事例】 「小国地区教育振興運動実践協議会（宮古市）」
「家庭学習の充実」
 - 2 【家庭学習】 学期末をチャンスに
 - 3 【教振は今】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 4 【みんなの声】 ペっこ言い隊
 - 5 【編集後記】 あつしのひとりごと
-

- 1 【実践事例】 「小国地区教育振興運動実践協議会（宮古市）」
「家庭学習の充実」

小国地区教育振興運動実践協議会においては、学校では、家庭学習の取り組み方を指導する時間を設け、家庭では、ノーテレビデー（月に1回）のほか、テレビの視聴時間を親子で話し合う「〇〇家のがんばる宣言」に取り組んでいます。さらに、家庭学習の習慣化には親も共に学ぶ姿勢が大切であることから、児童が親のために本を借りたり、保護者や地域の方を対象とした「読み聞かせ講演会」を開いています。

事例は⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_oguni
<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/oguni-siryou>

- 2 【家庭学習】 学期末をチャンスに

1 学期末。県内小・中学校では「期末3者面談」が行われ、子どもたちの通信簿が渡されることと思います。その結果を見て、保護者の皆さんはいろいろな思いを巡らされることでしょう。

私たちが子どもの頃の通信簿は、全体の中での順位付けで成績が決まる「相対評価」でした。今の通信簿は、身に付けるべき学習内容に対する個人の到達度を成績とする「絶対評価」です。成績は、“個人の取組結果”であるにもかかわらず、以前同様に“他の人と比較”をしていませんか。

子育てや子どもの教育で悩んでいる保護者の皆さんは、たくさんいらっしゃると思います。それは、子どものことを本気で思っている証であり、保護者として当然のことです。しかし、なぜ悩むのか、少し考えてみませんか。

悩みは、「思うとおりにならないことを、自分の思い通りにさせようとする」ところから生じるものです。つまり、子どもを自分の思うとおりにしたいのに、そうならないから悩み、その思いを抑えきれなくなって怒り出す。果たして、それは本当に子どものためのことといえるのでしょうか。

知らなかったことを学び、そこまで身につけたことを認めてあげることが大切だという気がします。「絶対評価」は、ゼロからスタートしてそこまで到達したことを意味します。そう考えると、子どもたちは良くやったわけです。出来たことはほめず、出来ないことを責めてしまいがちになってはいないでしょうか。

人は、誰だって高まりたいという気持ちを持っています。思うとおりにするのではなく、「どうしたらいい？」と子ども自身に考えさせて、その気にさせましょう。学期末は、親子で学習について語り合う、とてもいいチャンスです。

3【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

- (教ちゃん) もうすぐ、夏休みね。本屋さんに行くと「〇〇文庫の100冊」という冊子が置かれていたり、課題図書が並んでいたり・・・。
- (振ちゃん) どの学校でも、夏休みの学習や生活の仕方を考える「計画表」を作ると思うけど、家庭での生活のあり方を考える良い機会だよな。
- (教ちゃん) そうね。親子でじっくり話し合っただけいいわ。特に読書時間は毎日確保して欲しいわね。学校の朝読書で本を読む習慣を身につけても、長期休みに入ると本を読まなくなると言われているのよ。
- (振ちゃん) 夏休み中、本を持ってラジオ体操に集まり、体操が終わったら日陰で15分読書をするといいよね。これも全県共通課題における地域の取組だよ。
- (教ちゃん) 永井地区教育振興運動推進会議（一関市）のように、夏休み・冬休みに公民館で自学自習の学習塾を開くと、宿題をためることなく、助かると思うわ。プール当番みたいに保護者が交代で見守り、わからないところは、子どもたち自身がお互いに教え合えばいいのよ。夏休みこそ、子ども会や実践区などの地域の出番だよ。
- (振ちゃん) みんなで考え、その役割を果たすのが「教振」だもんね。夏休みの前に、子ども・家庭・地域の役割を話し合おうよ。
-

4【みんなの声】ぺっこ言い隊

- (1) 小・中と全く勉強嫌いだった二男。部活三昧の日々を謳歌していましたが、中三になり、突然地域有数の進学校に入ると言い出しました。母としては、日頃の生活ぶりから入学後に苦労することが見え見えだったため、思わず「無理しないで入れるところに入って」と言ってしまいました。聞いて聞かれません・・・とうとう合格してしまいました。

入学後は、念願の硬式テニス部に入り、受験勉強に近いペースで勉強にも励み、別人のようです。今週は中間テスト。はらはらしながら見守っています。 (M市Fさん)

⇒ 目標を持って生活し、それを達成させた自信がさらに成長させる。親の心配をよそに、子はたくましく育っていて、うらやましい限りです。

(2) 先日、中総体の地区予選があり、ソフトボールの応援に行ってきました。試合後に反省会があったので、私も興味深く生徒一人ひとりの感想を聞いてみたのですが、実に感動的でした。

ピンチの場面にみんなで励ましあったこと、後ろの打順の生徒のヒットでホームに生還できたことなど、試合は4対29でボロ負けでしたが、ウチの娘はもちろん、他の子どもたちもみんなで試合ができた充実感を味わっていたようでした。

前回のメルマガでは、「子ども自身が体験することの大切さ」について触れていましたが、中総体の応援に行き、そのことを実感させられました。今後も、団体競技でチームワークを磨き、生きる力を身につけてほしいものです。(H町Cさん)

⇒ 「このメンバーで、3年間やってきて良かった。」と引退する時に言えたら、最高ですね。本気で泣き笑いできる中学時代は、素晴らしい期間です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。
⇒ 21kyoushin@gmail.com

5 【編集後記】 あつしのひとりごと

7月24日(土)、岩手教育会館で行われる「絵本ワールド in いわて 2010 (岩手日報社主催)」に出演します。県内における読書の状況や読書ボランティアの頑張り、そして10月24日(日)に行う「子育てに活かす読書活動推進フォーラム」を、盛岡大学短期大学部幼児教育科の学生と一緒にPRしてきます。

⇒ 「子育てに活かす読書活動推進フォーラム」のチラシ(第1次案内)

<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/foramul>

⇒ 第25号は、7月27日(火)配信です。

★平成21年度配信のバックナンバー(第1~17号)はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

~~~~~配信元~~~~~

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士(さとう あつし)

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう!」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

~~~~~